



運営協議会だより

第3号

代表 近藤 弘文 校長 竹村 郷

第3回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

■日 時 平成30年7月17日 17:00～18:00

■場 所 落合第六小学校 視聴覚室

■司 会 副校長 庖刀 由利子

1. 校長挨拶

学校関係者評価について説明させていただきます。

2. 内容

《第一回学校関係者評価について》

・保護者評価について 校長より

学校運営については、ほぼ高評価を頂いております。

学習指導については次回第三者委員会の大学の先生がこの会にいらっしゃいますので前年度の比較と今後の課題分析について一緒に詳しくお話しします。

生活指導についてはあいさつに課題がある。いじめ、きまりについても高い信頼度については今一步のところ。他行事、安心・安全、特色ある教育活動はほぼ高評価です。

・児童評価、教員の自己評価について 副校長より

児童 学校については、みんなとかなえていきたいこと、困ったとき先生は相談にのってくれるか、授業内容は高評価、地域との関りは1学期まだ交流する授業がないため下がっています。

あなたについては、いじめなどの問題があるときにすぐに相談しますか？相対的に高評価ではありますが全員が相談しやすい環境にもっと整えていきます。行事には満足している。挨拶を子どもたちはしているとの評価、地域との関りについては下がっています。いじめを見かけたとき注意したり、先生に伝えられるかについては伝えられない子どもがいるということ。

教員 いじめ、職場環境は100%と意識が高い、分かりやすい授業について28.6%の低評価は教員の伸びしろと第三者委員会の方の評価でした。地域とのかかわりについてはポイントが低い

《グラグリット社の方々によるグラフィックレコーディング》 おえかきシンキング授業

10時間くらいのカリキュラムを予定、本来企業向けのセミナーでは50万円くらいの費用が掛かるところ、本校の教育・学習指導に賛同下さり無償で提供くださいます。経年で行って頂ける。

ファシリテーショングラフィック＝グラフィックレコーディング

子どもの発言を引き出す手 教え込む授業ではダメ

ファシリテーター・・・調整役 子どもたちが将来、国際化の世の中で勝ち抜くため

上手に書けなくても良い→思考法を学ぶ

グラグリット社の方も教えるのではなく、手助け

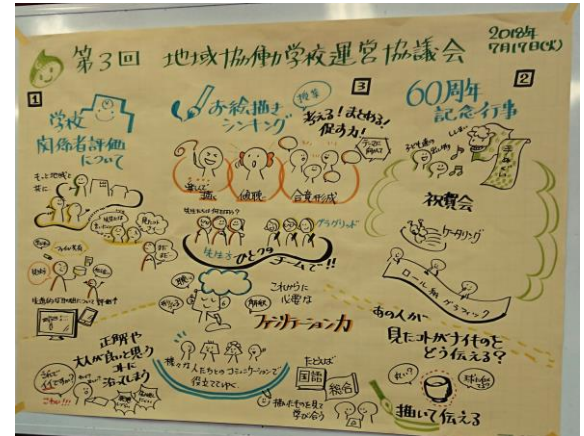
《創立60周年について》 10月6日(土)

児童集会 8:30～

式典 10:00～

祝賀会 12:30～

ロール紙を使って今とこれからの落六小をグラグリット社の方と一緒に全校生徒で表現します



【意見交換】 近藤会長進行 グラグリッド社おえかきシンキング授業について

問) 対象学年は？

答) 高学年中心→聞き取って構成をし直すため 体験で全学年は行います

問) 時間？

答) 4 日間で 10 時間 楽しむ→空想する→きく→まとめる

問) 授業のテーマは？

答) 考える力、まとめる力、促す力を育てる

問) 何の教科で行うのか？

答) 文章の組立を考えるので国語とあとは総合の時間になる

問) 目的は？

答) これからの教育はゴールが何かと意識して学ぶため、グラフィックレコーディングは理解しやすい 使う脳の領域を増やす 自分と他人の違いを知る→お互いを知る

- ・ 絵で見ると理解が深まり想像しやすく覚えやすいと思います
- ・ 話し合いの段階で絵を用いて表現することでスピードが上がる

【次回の予定】

9 月 1 8 日 (火) 17:00～ 落合第六小学校 視聴覚室にて

【出席者】

近藤 弘文、橘 完太、北野 清治、橋田 稔、鈴木 正実、水上 真理、篠田 邦子、
亀井 治子、竹村 郷、大久保 京子 (書記兼務)
庖刀 由利子 (副校長)、中家 恵美 (主幹)
遠藤 剛 (落合第二地区 特別出張所 所長)、岩橋 (教育支援課地域家庭教育係)
和田 あずみ、小野田、名古屋 (グラグリッド社)